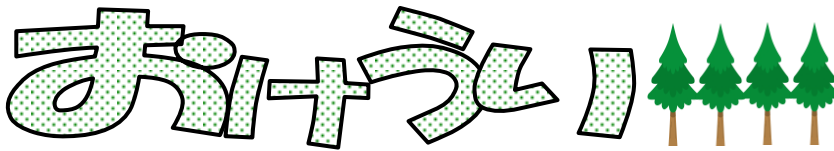


いわき市立桶売小学校「学校だより」



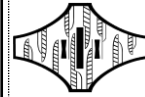
令和2年10月13日(火) 第29号 (発行者 校長 遠藤 修)

＜教育目標＞

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

＜校章の由来＞

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



2020 第74回 読書週間 10月27日(火)～11月9日(月)

「燈火稍(ようや)く 親しむ可(べ)く」

10月も半ばを迎え、秋の深まりを一層感じられる頃になりました。季節はいよいよ「読書の秋」。

中国の唐時代の詩人・韓愈(かんゆ)が、詩の中で、秋のひんやりとした空気は過ごしやすいため明りを灯して

読書するのがいいと詠ったことから、「秋は読書の季節」という認識が広まったそうです。

10月27日(火)から11月9日(月)まで約2週間の日程で読書週間が行われます。今年のスローガンは、「ラストページまで駆け抜けて」。物語に引き込まれ、時間が過ぎるのも忘れて最後のページまで一気に読み進めてしまう…そんな経験を誰もが持っているのではないのでしょうか。

忙しく過ぎていく毎日ですが、秋の夜長には本の世界に浸り、静かに時を過ごすのも素敵ですね。

～読書週間のシンボルマーク「ふくろう」～

「ふくろう」は、ギリシャ神話の世界では、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者でした。古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといいます。森の奥ふかく、静かに瞑想にふける様子から、読書週間のシンボルマークに使われているそうです。



こうこさん おすすめの本

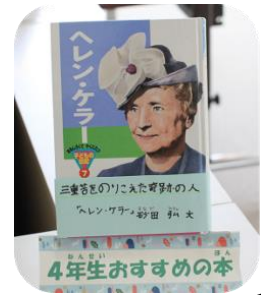


国語の学習で作った帯(おび)をつけて図書室に展示してあります。

おもしろくてやくにたつ子どもの伝記(7)

「ヘレン・ケラー」 文/砂田 弘 ポプラ社

目が見えない、耳が聞こえない、話せないヘレンが自分と同じような人を助けるお話です。ある1人の先生との出会いがヘレンの人生を大きく変えました。ヘレンは、目、口、耳がつかえない人の役にたとうと人生を強く生きていてすごいと思いました。



児童推薦の本

ICT支援員

先日、ICT支援員の方が挨拶と事業の説明のため来校しました。

いわき市教育委員会は、ベネッセコーポレーションと協定を結び、本市小中学校における英語教育およびICT教育の充実に向けて連携を図ることになりました。

特にICT教育については、パソコン教室のタブレット化にあわせて学習ソフト用「ミライシード」を導入するとともに、各校に月に2日支援員を派遣し、ICTを活用した魅力ある授業づくりを推進する方針です。

本校においても、支援員を活用し、ICT環境の整備や、校内研修の充実による教職員のスキルアップを図っていきたいと考えます。



互見授業その2



第6学年 算数 「比例と反比例」

12日(月)の3校時、互見授業の第2弾として6学年算数科の授業を行いました。

参観された先生方からは、学習のめあてのもとせ方や効果的なペアでの話し合い等についてご指導・ご意見を頂戴しました。

これからも確かな学力の定着に向けて、日々授業改善に取り組んでいきたいと思えます。



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.083 μSV/h 10/13 8:00

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

